

(講座) 感染分子病態学

(研究室) 感染分子薬学

(氏名) 北里海雄

(職名) 助教授

### 【研究テーマ】

1. MIP-T3 遺伝子の分子機能に関する研究
2. インフルエンザウイルスの感染病態と抗ウイルス薬に関する研究
3. 微生物群集構造の解析による環境評価法の確立

### 【論文発表】

#### A 欧文

##### (A-a) 原著論文

1. Fuse T., Watanabe K., Kitazato K. and Kobayashi N. Establishment of a new cell line inducibly expressing HIV-1 protease for performing safe and highly sensitive screening of HIV protease inhibitors. *Microbes and Infection* 8, 1783-1789. 2006 (IF, 3.154)
2. Watanabe K., Fuse T., Asano I., Takahara F., Maru Y., Nagata K., Kitazato K. and Kobayashi N. Identification of Hsc70 as an influenza virus matrix protein (M1) binding factor involved in the virus life cycle. *FEBS Letters* 580, 5785-5790. 2006 (IF, 3.415)

#### B 邦文

##### (B-c) 著書

1. 北里海雄、小林信之、Tat, 廣川タンパク質化学第3巻「遺伝情報発現調節タンパク質」名取俊二、中西義信、堀越正美編集, pp137-145. 2006.

### 【学会発表】

#### B 国内学会

##### (B-b) 一般講演

1. 北里海雄, 齊藤誠、渡辺健、小林信之, ヒト細胞における MIP-T3 の発現および挙動解析, 日本生化学会九州支部会, 2006年5月, 福岡
2. 渡辺健, 布施隆行, 浅野郁星, 塚原富士子, 丸義朗, 永田恭介, 北里海雄, 小林信之, Hsc70 の機能解析: インフルエンザウイルスマトリックスタンパク質(M1)結合因子としてのウイルス生活環での役割, 日本生化学会九州支部会, 2006年5月, 福岡
3. 渡辺健, 布施隆行, 浅野郁星, 塚原富士子, 丸義朗, 永田恭介, 北里海雄, 小林信之, Hsc70 の発現抑制によるインフルエンザウイルス増殖の制御, 日本細菌学会日本ウイルス学会合同九州支部会, 2006年9月, 久留米
4. 渡辺健, 布施隆行, 浅野郁星, 永田恭介, 北里海雄, 小林信之, Hsc70 発現抑制によるインフルエンザウイルス増殖制御の基礎検討, 第54回 日本ウイルス学会学術集会 2006年11月, 名古屋

**【特許】**

**【研究費取得状況】**

**【学会役員等】**

**【過去の研究業績総計】**

原著論文 (欧文)	17 編	(邦文)	1 編
総説 (欧文)	1 編	(邦文)	2 編
著書 (欧文)	2 編	(邦文)	3 編
紀要 (欧文)	1 編		
特許	2 件		